

仲卸業者の経営状況2021（概要）

1社当たりの売上高は減少し、厳しい経営状況 —6割弱の事業者が経営の健全性に関する指標（※）に該当—

（※）経営の健全性に関する指標

①流動比率100%未満、②自己資本比率10%未満、③3期連続経常損失のいずれかに該当

【調査方法】

令和4年9月までに提出された仲卸業者の事業報告書（令和3年1月1日から令和3年12月31日までに終了した事業期間に係わるもの）をもとに、企業会計原則等に基づき修正し集計した。

サンプル数：861社（水産物508社、青果物291社、花き38社、食肉24社）

【ポイント】

○ 1社当たりの売上高は1.5%減少、減収業者の割合は70.2%→70.8%と推移

<取扱品目別1社当たり売上高の増減>

	令和2年	令和3年	対前年比
全 体	98,589 万円	97,152 万円	98.5%
水 産 物	50,962 万円	46,042 万円	90.3%
青 果 物	160,846 万円	164,121 万円	102.0%
花 き	79,841 万円	81,137 万円	101.6%
食 肉	409,600 万円	392,333 万円	95.8%

○ 営業損益及び経常損益の黒字計上業者の割合はいずれも減少

- ・売上総利益率が増加した業者の割合は52.2%→51.9%と推移。
- ・営業損益では黒字の業者が全体の33.3%→24.6%、経常損益では黒字の業者が全体の47.7%→44.6%と、いずれも前年に比べその割合は減少した。

○ 借入金比率 47.6%→49.1%に上昇

・全体の 8.9%（前年 11.3%）の業者が無借金経営をしている一方で、29.6%（前年 26.5%）の業者は借入金比率が 100%を超えており、債務負担は上昇している。

<取扱品目別の借入金比率>

	令和2年	令和3年	増減
全 体	47.6%	49.1%	1.5%
水産物	60.1%	62.5%	2.4%
青果物	36.4%	37.9%	1.5%
花き	46.4%	47.3%	0.9%
食肉	52.6%	53.7%	1.1%

○ 経営の健全性に関する指標に該当する業者割合は増加

・経営の健全性に関する指標該当業者は全体で前年 408 業者（50.5%）→451 業者（57.1%）と、前年より 6.6 ポイント上回っている。

<指標該当業者数>

	いずれかの 指標に該当する 業者数	指 標（※）			全ての指標 に該当	調査対象 業者(※1)
		流動比率 100%未満	自己資本比率 10%未満	3期連続 経常損失		
全 体	451 業者 [57.1%] (408 業者)	158 業者 (163 業者)	386 業者 (366 業者)	172 業者 (120 業者)	54 業者 (51 業者)	790 業者 (808 業者)
水 産 物	305 業者 [65.0%] (280 業者)	118 業者 (120 業者)	258 業者 (244 業者)	124 業者 (90 業者)	43 業者 (39 業者)	469 業者 (478 業者)
青 果 物	118 業者 [45.6%] (105 業者)	34 業者 (37 業者)	102 業者 (99 業者)	44 業者 (25 業者)	10 業者 (10 業者)	259 業者 (271 業者)
花 き	22 業者 [57.9%] (17 業者)	5 業者 (4 業者)	20 業者 (17 業者)	3 業者 (4 業者)	1 業者 (2 業者)	38 業者 (35 業者)
食 肉	6 業者 [25.0%] (6 業者)	1 業者 (2 業者)	6 業者 (6 業者)	1 業者 (1 業者)	0 業者 (0 業者)	24 業者 (24 業者)

※ 令和元年、令和2年、令和3年の3期連続して事業報告書が提出された業者

[]内パーセンテージは全体又は取扱品目ごとの調査対象業者に占める上記指標該当業者の割合

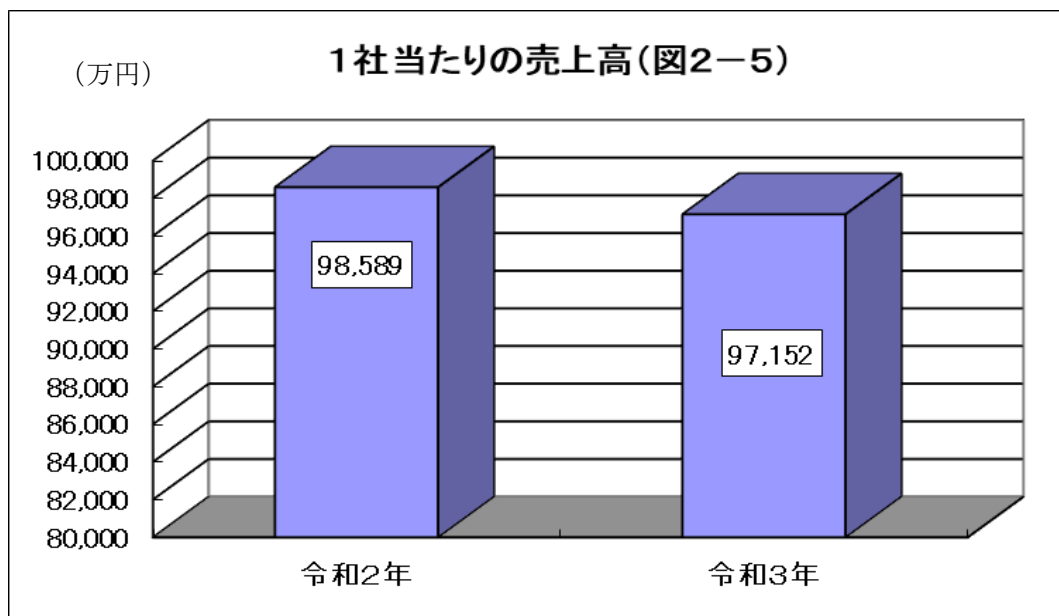
下段（ ）内は前年の調査結果

【概要】

1 1社当たりの売上高は減少

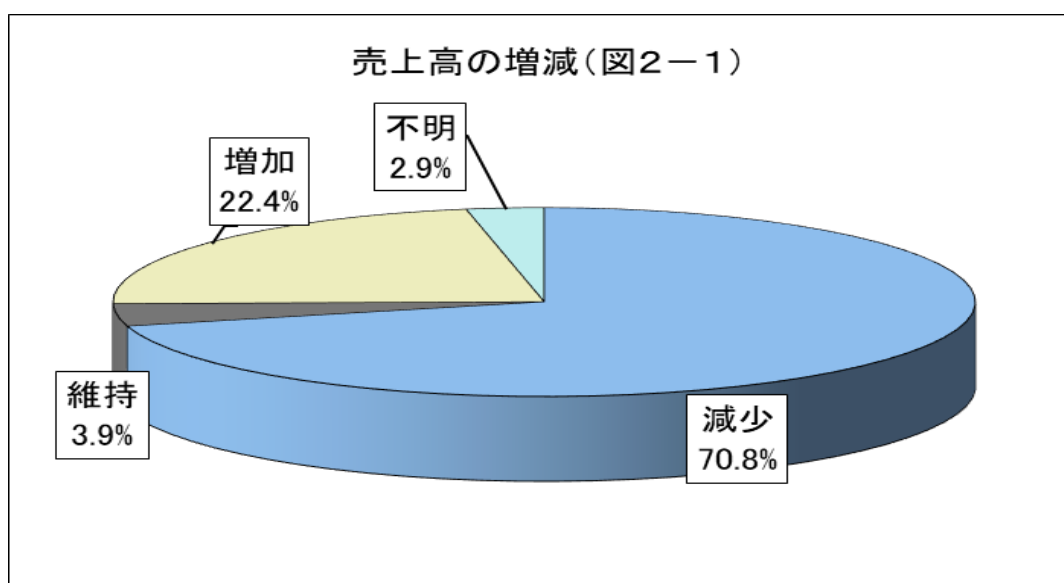
仲卸業者全体の1社当たりの売上高は、前年の9億8,589万円から9億7,152万円と、1,437万円(1.5%)減少した。

取扱品目別にみると、前年に比べ青果物及び花きは増加し、水産物及び食肉は減少した。



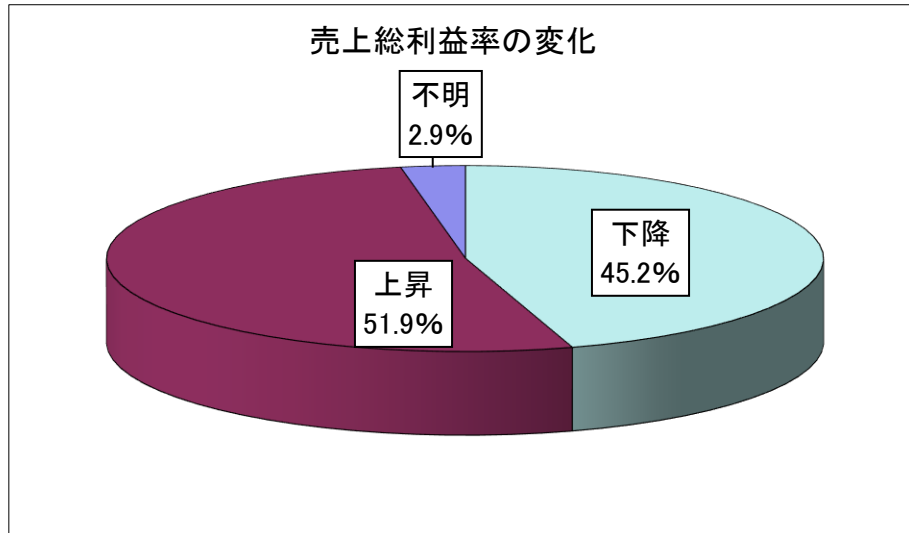
2 売上減少となった業者の割合は前年並み

売上高が減少した業者は、全体の70.8%(前年70.2%)であった。取扱品目別に減少した業者の割合をみると、水産物は81.3%(前年77.6%)、青果物は56.7%(前年57.0%)、花きは50.0%(前年73.7%)、食肉は54.1%(前年62.5%)となっており、青果物、花き及び食肉では減収となった業者の割合が前年と比べ減少したものの、水産物では増加した。



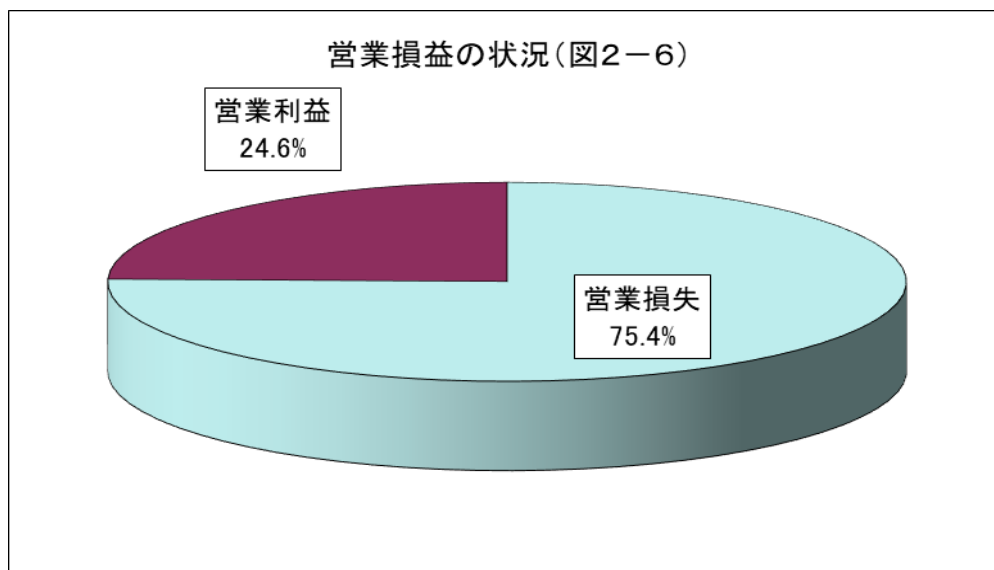
3 売上総利益率は5割超の業者が上昇

売上総利益率が上昇した業者は全体で51.9%と下降した業者を上回った。取扱品目別に売上総利益率が上昇した業者の割合をみると、水産物は56.5%、青果物は48.5%、花きは31.6%、食肉は29.2%と、水産物及び青果物は上昇した業者数が下降した業者数を上回り、花き及び食肉は下降した業者数が上昇した業者数を上回った。



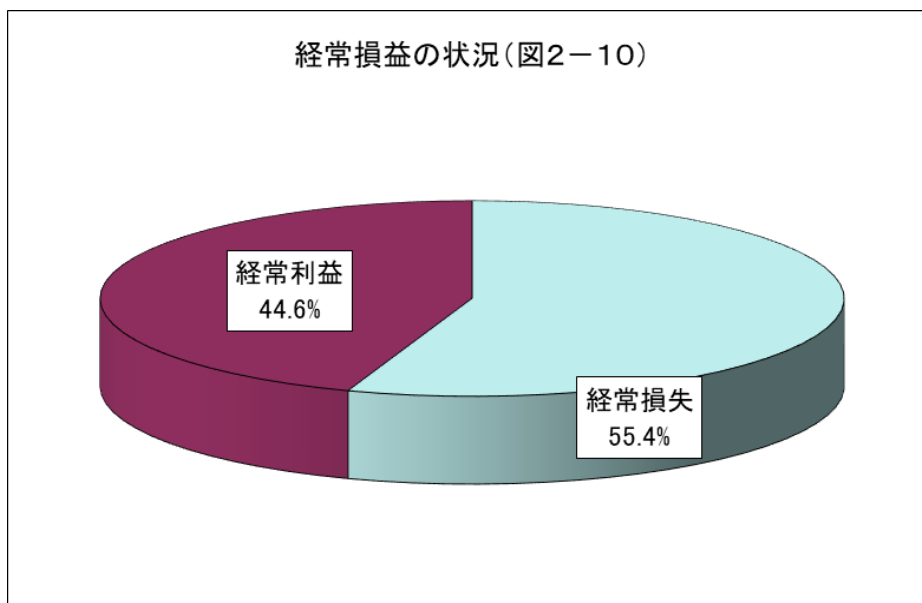
4 営業損益は黒字計上業者の割合が減少

営業利益(黒字)を計上した業者の割合が24.6%(前年33.3%)、営業損失(赤字)を計上した業者の割合が75.4%(同66.7%)となり、前年に比べ黒字となった業者の割合が減少した。取扱品目別にみると、水産物、青果物及び花きでは半数以上の業者が赤字となり、食肉では半数以上の業者が黒字となった。



5 経常損益は4割強が黒字計上

経常利益(黒字)を計上した業者の割合は44.6%、経常損失(赤字)を計上した業者の割合は55.4%と、前年に比べ黒字業者の割合が3.1ポイント下降した。前年と比較すると、花き(前年44.7%→当年57.9%)
(以下同様)、食肉(83.3%→87.5%)は黒字業者の割合が増加し、水産物(39.8%→35.4%)、青果物(59.5%→55.3%)は黒字業者の割合が減少した。



6 借入金比率100%以上の業者の割合は増加

借入金比率別にみると、無借金経営(借入金比率0%)の業者が77社(8.9%)あった。一方、借入金比率100%以上の業者が255社(29.6%)あり、前年(26.5%)に比べるとその割合は増加した。

また、取扱品目別にみると、借入金比率が100%以上の業者の割合は、水産物では35.6%、青果物では23.4%、花きでは15.8%、食肉では該当がなかった。

